

平成 20 年 11 月 21 日

各 位

会社名 株式会社ホッコク
代表者名 代表取締役 吉田 泰昌
[JASDAQ コード 2906]
問い合わせ先 専務取締役 青池 啓忠
TEL 03 - 5695 - 2005

主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ

今般、当社の主要株主である筆頭株主に下記のとおり異動がありましたので、お知らせいたします。

記

1. 異動が生じた経緯

平成 20 年 11 月 21 日付にて、当社の主要株主である筆頭株主の都市綜研インベストバンク株式会社の所有する当社株式 2,950,000 株の一部を、次のとおり譲渡した旨連絡があり、その内容から当社主要株主に異動が生じたことを確認いたしました。

氏 名	取得株式数
株式会社 CEREBRUM	1,780,000 株
クレアフーズ株式会社	740,000 株
その他（個人 1 名）	100,000 株

平成 20 年 8 月 29 日に「都市綜研インベストバンク株式会社との業務提携契約の終了について」にてお知らせ致しましたとおり、都市綜研インベストバンク株式会社は、当社の筆頭株主として当社発展に尽力いただきましたが、不動産業界の事業環境の急激な悪化・当社の不動産事業に関する経験不足等から、当社は、不動産開発事業への参入を中止し、当社の強みである飲食事業に専念するため、都市綜研インベストバンク株式会社との業務提携関係を終了しました。さらにこの業務提携を解消し、飲食事業に専念する方針を表明したのち今後の当社の事業展開を考慮すると、同社との資本提携関係を継続する必要がなくなりました。そこで、当社は都市綜研インベストバンク株式会社に対して同社が所有する当社株式の第三者への譲渡を申し入れた結果、これに応諾をいただきました。

今般、新たに当社株式を取得した方々の主要な事業内容は次の通りであります。

- ① 株式会社 CEREBRUM
飲食店の経営及び経営コンサルティング
- ② クレアフーズ株式会社
業務用食料品の卸売業、加工調理食品・清涼飲料水の販売
- ③ その他（個人1名）
飲食店経営のコンサルティング業を営み、飲食業に深い経験のある方

上記の方々は、いずれも都市綜研インベストバンク株式会社と資本関係及び業務提携関係はありません。また、当社との間にも資本関係及び業務提携関係はありませんが、飲食業に強みを持ち、今後当社の主要な収益基盤となる飲食事業及び飲食業界での取引強化・フランチャイズの活性化・新規契約等に対するコンサルティングに関してもコラボレーションを期待できる先であり、当社の業績向上に寄与するものと考えております。この方々全員から当社の安定株主として、当社株式を長期に保有していただけるとの意思を受けております。

2. 当該主要株主である筆頭株主の名称等

(1) 新たに主要株主である筆頭株主となった株主

- ① 商 号：株式会社 CEREBRUM
- ② 住 所：東京都千代田区六番町 13
- ③ 代 表 者：代表取締役 小池 満大
- ④ 事業内容：飲食店の経営及び経営コンサルティング

(2) 主要株主及び筆頭株主でなくなった株主

- ① 商 号：都市綜研インベストバンク株式会社
- ② 住 所：大阪府中央区北浜一丁目 1 番 30 号
- ③ 代 表 者：代表取締役 森村 等
- ④ 事業内容：シニア・リビング事業、資産運用及び管理事業、不動産売買・仲介・運用事業、都市開発・地域開発等に関するコンサルタント業

3. 異動前後における当該株主の所有株式数（議決権の数）および総株主の議決権の数に対する割合

(1) 株式会社 CEREBRUM

	所有株式数 (議決権の数)	総株主の議決権の数 に対する割合	大株主順位
異動前	0 株 (0 個)	0.0 %	—
異動後	1,780,000 株 (1,780 個)	12.7 %	第 1 位

(2) 都市綜研インベストバンク株式会社

	所有株式数 (議決権の数)	総株主の議決権の数 に対する割合	大株主順位
異動前	2,950,000 株 (2,950 個)	21.0%	第 1 位
異動後	330,000 株 (330 個)	2.3%	—

4. 異動年月日

平成 20 年 11 月 21 日

5. 異動日 (平成 20 年 11 月 21 日) 現在の議決権総数、発行済株式総数および資本金の額

議決権総数 14,058 個

発行済株式総数 14,860,000 株

資本金の額 1,877,500,000 円

6. 今後の見通し

今般の異動による当社の業績に与える影響は、今般新たに株主となった方々は、今後当社の主要な収益基盤となる飲食事業及び飲食業界での取引強化・フランチャイズの活性化・新規契約等に対するコンサルティングに関してもコラボレーションを期待できる先であり、当社の業績向上に寄与するものと考えております。

なお、都市綜研インベストバンク株式会社が、引き続き所有する当社株式 33 万株の措置に関しては、現在決まっておりません。

以上